

(様式3) 平成23年度

5 今年度の重点課題 (学校アクションプラン)

平成23年度 富山いずみ高等学校アクションプラン - 1 -		
重点項目	学 習 活 動	
重点課題	学力の向上と定着を図る家庭学習習慣の確立	
現 状	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の進路目標が多様であることから、それぞれに応じた家庭学習の量や必要な学力が様々であるため、教科によって成績にばらつきが見られる生徒が多い。 進路目標が明確でないことで、日々の学習意欲に影響を与えている場合があり、家庭学習の少ない生徒も見受けられる。 平成22年度の生徒の授業に対する満足度(アンケート調査)は、4.0/5.0であった。 	
達成目標	①家庭学習時間を平均2時間以上にする。	②授業の内容を充実し、確かな学力を身に付けさせる。
	実態調査での達成度 70%	アンケート調査での生徒の授業に対する満足度 4.0/5.0以上 (5点満点で全教科・全生徒平均)
方 策	<ul style="list-style-type: none"> 望ましい生活パターンを各自で作らせ、進路を意識した学習習慣の定着・改善を図る。 担任等による面接指導を充実する。 小テストや課題テストを計画的に実施し、学力の伸長や定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業に関する満足度調査を学期に1回実施する。 各授業のねらいを明確にして、その目標を達成するための授業の工夫をする。 互見授業を年1回以上実施し、指導法等の授業改善に関する研修会を行う。

(評価基準 A: 達成した B: ほぼ達成した C: 現状維持 D: 現状より悪くなった)

平成23年度 富山いずみ高等学校アクションプラン - 2 -		
重点項目	学 校 生 活	
重点課題	<ul style="list-style-type: none"> 規範意識の向上 (正しい制服の着こなしの定着と交通安全意識の高揚) 心のケアサポートの充実 	
現 状	<ul style="list-style-type: none"> 制服の改造や変形を行う生徒はいないが、流行を追い、制服をだらしなく着用する生徒が一部に見られる。 交通に関するマナー (自転車、歩行者) のよくない生徒が見られる。 自転車による事故が例年10件以上起きている。 生徒の間に特定のグループを作り行動する傾向が見られ、人間関係に悩む生徒がいる。 	
達成目標	①規範意識の向上	②心のケアサポートの充実
	『制服の着こなし』『交通安全意識』を含めた規範意識に関するアンケート (5段階評価) で「守っている」「ほぼ守っている」と自己評価する生徒の割合が全校生徒の9割以上	ホームルームでのグループエンカウンター の活用が年1回以上
方 策	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に服装指導を行う。 「制服着こなしセミナー」を実施する。 生徒会規律委員会の活動を通して、各自の身なりについて考えさせる。 学校周辺の路上で定期的に乗車指導を行う。 定期的に駐輪場における指導を行う。 講師を招いて交通安全に関する講習会を開く。 	<ul style="list-style-type: none"> グループエンカウンターをホームルームに取り入れることによって気心が知れた仲間以外との繋がりがもてるようにする。 高校生のための支援事業を活用し、個別面接の機会を提供する。

(評価基準 A: 達成した B: ほぼ達成した C: 現状維持 D: 現状より悪くなった)

平成23年度 富山いずみ高等学校アクションプラン - 3 -		
重点項目	進路支援	
重点課題	<ul style="list-style-type: none"> ・面接指導の充実 ・社会人や大学等の先生による講話の実施 	
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・「産業社会と人間」(総合学科)や様々な進路ガイダンスを通して、進路や職業について考察を深めているが、進路意識が希薄なため、家庭学習が習慣化していない生徒が少なからずいる。 ・学習態度はまじめであるが、基礎学力が定着していないため、学習活動に困難を感じている生徒がいる。 	
達成目標	①面接指導の充実	②社会人・大学教員等による講話
	年 5回以上	各学科・各学年 年3回以上
方 策	担任との面接を充実させる。また担任以外の先生と話す機会を増やす。	様々な講話を通して多様な考え方や見方を身に付けさせる。

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:現状維持 D:現状より悪くなった)

平成23年度 富山いずみ高等学校アクションプラン - 4 -				
重点項目	特 別 活 動			
重点課題	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事の充実 ・部活動の充実 ・読書意欲の向上と幅広い読書の推進 ・生徒図書委員会の広報活動の充実と図書館利用の促進 			
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・体育大会・文化部発表会・スポーツ大会などの学校行事の運営を生徒会執行部や各係役員だけで行うことが多い。学校行事に対して、一般生徒がいかにか主体的に参加し、高い満足を得るかが課題である。 ・部活動は、加入率も高く、活動の成果・実績も徐々に上がりつつあるが、部長等をリーダーとした組織的な活動がより充実されることが望まれる。 ・生徒一人あたりの年間読書冊数は増加している。さらに、思考力・表現力を向上するための幅広い読書につなげることが課題である。 ・生徒図書委員会の活動は活発であり、責任感を持って取り組んでいる。その委員会活動が一般生徒の図書館行事の参加や図書館利用に十分結びついているとは言えない。 			
達成目標	①学校行事の運営・活動に対する満足度	②部活動のリーダーに対する研修	③年間読書冊数	④生徒図書委員会による企画展の開催
	アンケート調査で80%以上	年3回以上	一人10冊以上(1・2年生)	年5回
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・活性化を図るため、学校行事の効果的運営を検討実施する。 ・学校行事に対するアンケートを継続実施し、生徒の満足度を調査する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新チームのリーダーを対象に研修会を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「朝読書」の実施、「読書履歴カード」の記入などを通して読書意欲の向上を図る。 ・「統一HR」で各学年に応じた進路に関わるクラス読書等を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・興味・関心のあるテーマを設定し、内容を充実させる。 ・展示の仕方を工夫するとともに、LIBRARYの発行や放送等の広報活動を工夫する。

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:現状維持 D:現状より悪くなった)

重点項目	進路支援(看護科教育)	
重点課題	<ul style="list-style-type: none"> ・普通教科科目および専門教科科目の基礎学力の定着と向上 ・看護師国家試験合格を目指した学習指導の確立 ・専門教科への興味・関心の涵養と平常の学習習慣の定着 ・専攻科生の進学・就職指導の充実 ・新カリキュラムに向けた授業、実習内容の検討 	
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・5年一貫教育で専攻科への入学試験がないため、希望生徒は専攻科へ進学する。中には学習への取り組みが十分でなく基礎学力が定着していないため、専攻科に進学後、進路変更する生徒が見受けられる。 ・看護師養成には国家試験合格が不可欠である。平成21年~23年の国家試験は3年連続で全員が合格し、現在も引き続き100%合格を目指し努力を続けている。 ・専攻科卒業後、保健師・助産師・養護教諭養成機関への入学を希望している生徒がいる。 	
達成目標	①看護師国家試験合格率	②進路希望達成度
	100%	100%
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師国家試験に合格する学力と、臨地実習に対応できる力を養うため5年間を見通した指導法の工夫を図る。 ・看護師国家試験の出題基準や内容の改訂に沿った指導をする。 ・高校1年次より平日学習時間3時間を目指す。 ・看護学の基礎知識の向上を図るとともに専門分野を体系的、系統的に理解できるよう指導方法の工夫を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路に関する情報を提供すると共に希望する進路に向けて個別指導を強化する。 ・専門職種としての意識を高める教科指導法および看護科行事の工夫改善を図る。 ・生徒の意識調査を分析し、生徒のかかえる問題、悩み等に対する面接の充実を図る。 ・面接、小論文指導を充実する。

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:現状維持 D:現状より悪くなった)